

報告事項２ 鈴鹿市認知症連絡会について

１ 鈴鹿市認知症連絡会の設置

認知症の人と家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、市内の認知症に関する支援機関が情報共有や連携を図ることができる場として、鈴鹿市認知症連絡会を設置しました。

これにより、個々の取組をつないで「面的」に支える仕組みを目指し、認知症の人と家族を総合的に支援して地域課題の解決に向けた取組を推進します。

鈴鹿市認知症連絡会参加団体

	構成区分	団体名
1	医療関係者	認知症疾患医療センター， 鈴鹿市認知症地域支援推進事業嘱託医
2	保健福祉関係者	レイの会
3	保健福祉関係者	三重県介護支援専門員協会鈴亀支部
4	保健福祉関係者	三重県地域密着型サービス協議会
5	保健福祉関係者	鈴鹿市基幹型地域包括支援センター
6	保健福祉関係者	生活支援コーディネーター
7	保健福祉関係者	鈴鹿市社協（地域福祉課長）
8	保健福祉関係者	鈴鹿市社会福祉協議会高齢者施策推進協議会（市民委員）
9	地域代表	認知症の人と家族の会
10	地域代表	鈴鹿市民生委員児童委員協議会連合会
11	地域代表	認知症カフェ
12	地域代表	オレンジサポートかりん
13	地域代表	キャラバン・メイト連絡協議会
14 ～ 21	関係機関	認知症地域支援推進員（中部，西部，北部，南部）
22 ～ 26	事務局	長寿社会課（課長，地域包括ケアシステム推進室）

2 鈴鹿市認知症連絡会の開催

会議の開催に関する事務と進行は、長寿社会課地域包括ケアシステム推進室が担い、6月、10月、2月の年3回の会議を開催します。今年度の開催状況は次のとおりです。

令和3年6月3日 第1回 鈴鹿市認知症連絡会

- ・設置目的の説明
- ・参加団体、鈴鹿市認知症地域支援推進員、事務局の自己紹介

令和3年10月28日 第2回 鈴鹿市認知症連絡会

- ・認知症地域支援推進員の活動報告
- ・スローガンの決定
「認知症になっても 自分らしく 住みやすい街 鈴鹿」
- ・提案事項
 - 各団体のイベントなどへの相互参加について
 - 認知症フレンドリーな鈴鹿市を目指して